平成２１年1月１９日

各　　位

会 社 名　　株 式 会 社　　北 日 本 銀 行
代 表 者 名　　取締役頭取　　佐 藤 安 紀
（コード番号　８５５１　東証第一部)
問 合 せ 先　　経営企画部長　　柴 田 克 洋
電 話 番 号　　０１９－６５３－１１１１

平成 21 年３月期第３四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が取得原価に比べて著しく下落し、その回復見込みがあると認められないものについて、平成 21 年３月期第３四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じましたので、お知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 21 年３月期の期末日の時価等により、有価証券評価損の額が変動する場合があります。

記

1. 平成 21 年３月期第３四半期の有価証券評価損の総額

(A) 平成 21 年３月期第３四半期の有価証券評価損の総額 （平成 21 年３月期第２四半期累計期間の有価証券評価損の総額） （平成 21 年３月期第３四半期累計期間の有価証券評価損の総額）	740 百万円 （215 百万円） （955 百万円）
(B) 平成 20 年３月期の純資産額 （Ａ／Ｂ×100）	58,037 百万円 （1.2%）
(C) 平成 20 年３月期の経常利益額 （Ａ／Ｂ×100）	2,135 百万円 （34.6%）
(D) 平成 20 年３月期の当期純利益額 （Ａ／Ｂ×100）	1,136 百万円 （65.1%）

（ご参考）　(1)　当行の第３四半期末は、12 月 31 日であります。

(2)　「その他有価証券」 で時価のあるもののうち、期末日における時価が取得原価に比べて 50%以上下落したもの、及び、期末日における時価が取得原価に比べて 30%以上 50%未満下落したもので時価の回復見込みがあると認められないものについて、減損処理を行っております。

２．今後の見通し

平成 21 年３月期業績予想につきましては、平成 20 年 10 月 14 日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

以　上